

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

オホーツク・北見市から 自治体にジョブコーチを配置し、 多様な障がい者雇用促進へGO!

自治体の障がいに関しての取り組みは、生活を支援する福祉や教育支援障がいへの理解を広める啓発活動ばかりではありません。オホーツク・北見市役所では近年、障がい者の法定雇用率を下回っていました。業務合理化の一環、法定雇用率アップの一助になればと、各部課の定型的な仕事を一か所にまとめた部署を創り、そこを知的、精神等の障がいのある青年たちの雇用、活躍の場にしようとして令和6年4月よりスタートして、この春で一年を迎えます。

ジョブコーチを 養成し、障がい者雇用

市役所が個々の障がい特性を受け止めて仕事が成り立つようにサポートするジョブコーチを配置し、合理的配慮を踏まえた雇用の場を創り、地域の先頭に立って障がいへの差別、偏見のないまちづくりを進める姿勢を示したことに関係者の間でも評価が高まっています。

この体制づくりは令和5年より要となるジョブコーチの養成など準備に着手。昨年4月よりジョブコーチ3名体制

制による障がい者雇用の特化した庶務支援課を創設。現在、知的障がい、精神障がいを抱える9名が、一般職員と同じ会計年度任用職員として働いています。

主な仕事の内容は、書類印刷、アンケートの集計、データ処理、音声データの文字起こし、封筒詰め、保存年限を迎えた書類の廃棄などです。もちろん仕事の内容やペースは個々の障がい特性に配慮して決めるのが基本。職場の一角には疲れた時や体調を整えるためのクールダウン、カームダウンスペース(防音ブース)も用意され、有効に活用されているようです。

なくてはならない 人材として活躍

勤務している知的障がいの青年たちの働く様子を聞いてみました。「一人は、作業のスピードはゆっくりだけれど、正確な仕事ぶりでパソコンも使え、音声データの文字起こしが得意。体力



「こうやって障がいのある仲間たちの職域が市役所各課に広がり、生き生きと働く姿が市民に映ることを目標にしています。焦らず、じっくり、しっかりと取り組んでいきます」とジョブコーチ資格を持つ庶務支援課長から、うれしい希望の言葉もいただきました。

「この存在です」とのこと。

また知的障がい者ではありませんが、障がいの特性を見極めた上で、昨年12月より庶務支援課から一般の部課に配置換えになった職員もいるそうです。

「こうやって障がいのある仲間たちの職域が市役所各課に広がり、生き生きと働く姿が市民に映ることを目標にしています。焦らず、じっくり、しっかりと取り組んでいきます」とジョブコーチ資格を持つ庶務支援課長から、うれしい希望の言葉もいただきました。



市民協働で人権を 尊重するまちづくり

北見市では障がい者雇用以外にも、一昨年より知的障がいの青年たちも選挙権を行使できるようにと、札幌市手をつなぐ育成会に助言をいただき、北見市手をつなぐ育成会と市選挙管理委

(2面に続く)



員会の協働による選挙模擬投票研修を継続して実施。市長選挙や統一地方選挙などで「投票ができたよ!」と、家族や周りの喜びの音が届くとともに、本来は当たり前のはずの主権者意識が高まっています。市では現在、人権を尊重するまちづくりを目指し、「(仮称)北見市人権まちづくり条例」制定に向けて審議が行われており、「障がい」も含めた多様性を認め合うまちづくりを市民協働で押し広めようとしています。



全国に広かれ、障がいの者の働く場

この北見市役所に生まれた障がいの者雇用の新たな芽をすくすくと育てていくためには、市民の理解とエールの輪を、「手をつなぐ育成会」を通じて、全道・全国の仲間とともに広めていかなければ」ですよね。

このような事例が各地の自治体に広がり、障がいのある青年たちが働き、活躍できる環境が整うことを願ってのオホーツク・北見市からの報告でした。

(北見市手をつなぐ育成会 浦西 孝浩)

記念すべき『第70回全道大会』を千歳市で開催!

多くの皆様のご参加をお待ちしています!!

第70回北海道手をつなぐ育成会全道大会

千歳大会実行委員長 青木 繁雄

(千歳市手をつなぐ育成会 会長)



桜花の候、育成会会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度は石狩ブロック(江別市、石狩市、北広島市、千歳市)の育成会が協力して全道大会を開催します。開催地は千歳市に決定し、来る令和7年9月27日(土)、千歳市民文化センター「北ガス文化ホール」を会場に第70回北海道手をつなぐ育成会全道大会千歳大会・第31回本人大会を開催する運びとなりました。

今大会も昨年の函館大会と同様に1日開催としました。そして、たくさんの方の会員の前に会場に来て頂きたいと思い、育成会大会はオンラインを行

わず、会場参加のみとしました(本人大会分科会はオンライン併用)。是非、半導体で盛り上がる街、千歳市にお越しください。

当日の内容は、中央情勢報告を全育連の佐々木桃子会長から現在の福祉情勢、育成会活動について全国的な視点から最新情報をお話して頂きます。

そして、今回は名寄大会以来開催されていなかった分科会を6年ぶりに再開することにしました。「人権」・「防災」・「育成会活動」をテーマに3つの分科会で討議していただきます。久々の分科会ということで心待ちにされていた方もおられると思いますので、是非活発な議論が繰り広げられることを期待しております。

今大会は創立70周年記念大会ということで記念行事を用意しました。新聞のコラムやテレビのコメンテーターとしても活躍されている香山リカ氏を講師として招き、記念講演をお願いしています。また、記念コンサートとして「競わない吹奏楽」(ダンプレ)で話題の「札幌国際情報高校吹奏楽

部」による演奏を披露して頂きます。記念講演、記念コンサート共に魅力的な内容で、多くの人に見て頂きたいと思い、会員だけではなく一般の皆様にも公開することとしました。たくさんの方たちと70周年を祝うことが出来れば幸いです。

本人大会については、分科会・全体会、チャレンジド、思い出観光を予定しています。詳細についてははげっぽう5月号で本人大会実行委員長の神田健太さんからお話しして頂きたいと思えます。

70周年という歴史のあるこの大会を千歳で開催できることを大変嬉しく思います。石狩ブロック、大会実行委員会を中心に総力を挙げ、心を込めて大会に向けて準備をしています。大会当日9月27日には是非会場にお越し頂き、みんなで70周年をお祝いしましょう!多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

千歳大会の主な日程

9月27日(土) 千歳市民文化センター

「北ガス文化ホール」

12:00	12:12	12:30	開会式
12:35	12:50		中央情勢報告(全育連会長)
13:00	15:00		分科会「人権・制度」
15:10	16:40		「喜し・防災」「育成会活動」記念講演
16:45	17:15		精神科医 香山 リカ氏
17:20	17:50		70周年記念コンサート
18:30	20:50		札幌国際情報高校吹奏楽部
20:30	20:50		懇親会
20:30	20:50		閉会式

(ANAクラウンプラザホテル千歳)
※開催要綱は6月下旬に各育成会・事業所に発送、道育成会HPに掲載します

※本人大会については次号でお知らせします。

北海道手をつなぐ育成会 創立70周年記念 特別研修会

昭和30年(1955年)8月28日に北海道手をつなぐ育成会が結成されてから、令和7年(2025年)で70周年を迎えます。道育成会がこの70年で果たしてきた役割を振り返り、障がい者が自分らしく安心して暮らしていく地域・社会をどのように思い描き、作りあげていくか、そのために育成会が何をしていけばよいのかを、講演とシンポジウムを通して考え合います。障がい者が当たり前で暮らしていける地域・社会は、誰もが暮らしやすい地域・社会です。会員をはじめ、多くの道民の皆さんにご参加いただきたいと思います。

記念講演

これからの障害者福祉

～令和の幸福論～

講師:野澤 和弘 氏 植草学園大学発達教育学部
発達支援教育学科 教授 副学長

少子・高齢化が進む中で、働き手不足に陥っている支援事業所は多い。知的障害者をどうやって守っているのか。育成会が果たすべき役割とは何か。何もかも行き詰っている感のある社会だが、知的障害の人々の「沈黙」と「ほほえみ」が暗示するものが未来に希望をもたらす。「この子らを世の光に」(糸賀一雄氏)の意味を今こそ見つめなおすべきである。



記念シンポジウム

「北海道の育成会が果たしてきたこと、そしてこれから」
～障がい者が安心して暮らしていく地域を展望して～

コーディネーター:又村 あおい 氏

全国手をつなぐ育成会連合会常務理事・事務局長

シンポジスト:野澤 和弘 氏

松倉 一男 道育成会 元会長

佐藤 春光 道育成会 会長

日時:令和7年(2025年)7月12日(土)
12:30~15:40(開場12:00)

会場:かでのホール

札幌市中央区北2条西7丁目
JR札幌駅徒歩13分・地下鉄さっぽろ駅徒歩9分

参加費:無料

開会式・特別表彰 12:30~12:55

記念講演 13:00~14:30

記念シンポジウム 14:40~15:30

主催:一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

共催:北海道知的障害児者生活サポート協会

後援:北海道 北海道教育委員会

参加申込は裏面を
ご覧ください

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会
創立 70 周年記念 特別研修会
日時：令和7年(2025年)7月12日(土) 12:30~15:40

FAX 011-251-0804

※ 記載していただいた個人情報は、特別研修会以外で使用することはありません。

所属名 (育成会・事業所・ほか)	
------------------	--

区分 (いずれかに✓)	<input type="checkbox"/> 育成会・親の会	<input type="checkbox"/> 保護者
	<input type="checkbox"/> 事業所・施設・福祉関係	<input type="checkbox"/> 教育関係
	<input type="checkbox"/> その他	

お名前	お名前

※ 11名以上になる場合は、コピーしてお使いください

団体等のご連絡先電話番号 (個人の方は記入しなくて構いません)	
------------------------------------	--



☆ スマートフォン・パソコンからも申込みます

<https://forms.gle/9MGiKiNbTqMM61vB8>

締切：令和7年(2025年)6月20日(金)

私たち育成会、ただ今、奮闘中！

地区育成会の活動紹介 その14

苦小牧市手をつなぐ育成会

はたちを共によろこぶ会

誰もが主役になれる成人式

——親の願いから生まれた特別な一日

「障がいがあっても、気軽に参加できる成人式を」そんな親の小さな願いが、やがて多くの人の心を動かし、一つの伝統になりました。障がいのあるお子さんを持つ親たちが集まり、「成人を祝う機会をみんなで分かち合いたい」と願い続けた結果、苦小牧市の支援を受けて誕生した独自の成人式。それが、今年で26回目を迎えました。

誰もが安心して迎えられるハレの日

今年も1月13日、グランドホテルニュー王子にて、新たに二十歳を迎えた5名の若者と、そのご家族、支援者の方々が集まりました。特別な日にふさわしい華やかな会場には、温かな祝福の空気が満ちています。



式典では、昨年12月に市長に就任した金澤市長、苦小牧市社会福祉協議会の渡邊会長から、お祝いの言葉が贈られました。二十歳を代表してスピーチをした若者は、「二十歳としての自覚を持ち、希望に満ちた人生を歩んでいきたい」と力強く決意を述べ、会場は大きな拍手に包まれました。さらに、家族への感謝を込めた花束の贈呈や、幼い頃からの

成長を振り返るスライド上映が行われると、会場のあちこちで涙をぬぐう姿が見られました。長い年月をともしに歩んできた家族にとっても、この成人式は特別な節目なのです。

26年前の第一回から変わらぬ思い

この成人式が初めて開催されたのは、今から26年前のことでした。当時、知的障がいのある子どもを持つ親たちは「一般の成人式に参加するのは難しいのでは」「うちの子にとって、安心して祝える場が必要なのは」と悩んでいました。

そんな中、「だったら、自分たちで成人式をつくらう」と立ち上がったのが、苦小牧市手をつなぐ親の会（当時）の会員の方々でした。行政や地域の支援を受けながら準備を進め、2000年に第一回の式典を開催。その思いは回を重ねるごとに多くの人に受け継がれ、今では参加者も会員に限定せずに広く呼びかけることで地域に根づく大切な行事となりました。

未来へつながる「みんなの成人式」

この成人式の魅力は、単なるセレモニーではなく、家族や支援者が一緒に喜びを分かち合える温かな場であることです。参加したご家族の一人は、「息子がこんなにくれたいと嬉しいうちに祝ってもらえて、本当に嬉しいです。これまでも振り返ると大変でしたが感慨深いです」と笑顔で話していました。

また、支援者の方からも「二十歳の節目は新たな人生のスタート。ここに関わるすべての人が、未来に向かって歩むきっかけになれば嬉しい」との声が聞かれました。



障がいがあっても自分らしく輝ける場がある——そんな願いから始まった成人式は、これからも新たな成人たちを温かく迎え続けることでしょう。二十歳を迎えられた皆さん、ご家族の皆さん、本当におめでとうございます。

（苦小牧市手をつなぐ育成会 事務局長 門内 勇治）

令和7年度(2025年度)の主な日程

- 4月21日(月) 第1回理事會
 - 5月26日(月) 定時總會・第2回理事會
 - 6月14日(土) 事業所協議會總會・研修會
 - 6月23日(月) 第1回ブロック事務局長會議・活性化対策委員會合同會議
 - 6月29日(日) 第1回ピアカン研修・本人大會実行委員會
 - 7月12日(土) 70周年記念特別研修會
 - 7月18日(金) 第1回広報・企画専門委員會
 - 9月1日(月) 第3回理事會
 - 9月27日(土) 全道大會千歲大會・本人大會
 - 10月 ひろげようみんなのわい函館魅力ある事業所づくり研修會
 - 11月22日(土) 第2回ピアカン研修・本人大會実行委員會
 - 12月8日(月) 第4回理事會
 - 3月25日(水) 第5回理事會
- ※日程は変更になる場合があります
 ※各種委員會は年間2〜3回開催予定
 ※9月17〜26日 かでる2・7閉館（事務局業務を他の場所で行います）

5月の予定

26日(月) 道育成会・道サポート協會總會

障害のある方向け 総合保険



入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

ぜんちの あんしん保険 障害のある方とそご家族へ

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

ぜんちの こども傷害保険

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230(2024年12月作成) Z012-2411R00

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

ぜんち共済株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
関東財務局長(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日10時～16時
土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2F
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約15.7万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かので 2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2025年1月現在の内容です。(D-007611 2026-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かので 2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

NPO法人清水町障害者児振興会連絡協議会 清水町とともに共同作業所 開所(設立)1990年4月1日

〒089-0356 上川郡清水町字羽帯南2線100番地
TEL・FAX (0156)63-2813
e-mail: tomon1990@bz04.pulala.or.jp

★地域活動支援センターⅢ型

利用定員数15名 職員数(常勤2名・非常勤2名) ※完全送迎・昼食提供

★主な作業種目

- ☆ふれあいの店カリヨン(コーヒー・軽食等)販売作業
- ☆請負作業シール貼り・箱折(JA等)
- ☆リサイクル封筒製作
- ☆草刈り作業(町委託)
- 図書館・保育所・町有地等

